

参考出展

易分散を実現する処理顔料

特長

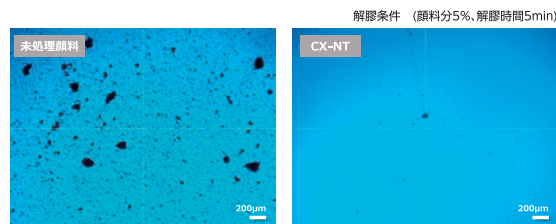
- 扱いやすさ : 独自処理により溶媒のみでの分散が可能(分散剤レス)
- 幅広い相溶性 : 多様な溶媒に分散が可能であり、安定性が良好
インク設計の自由度が向上
- 易分散 : 分散時間短縮により、生産性向上と省エネルギー化に貢献
- 鮮やかさ : 作成塗膜の発色性・光沢度が良好

性能データ

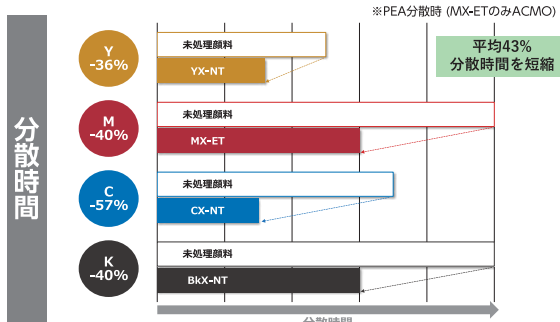
品名	顔料種	顔料分	分散時 粒子径[nm]	分散可能範囲 SP値
YX-NT※	PY155	75.0%	97	8~11
MX-NT※	PR122	71.8%	110	8~10
MX-ET※		74.8%	95	10~11
CX-NT	PB15:4	72.4%	98	8~11
Bkx-NT	PBk7	80.8%	107	8~11

※処理剤が新規化学物質になります。
SP値は参考値です。ACMO、PEA、IBOAなどのモノマー、その他溶剤での分散を確認済みです。

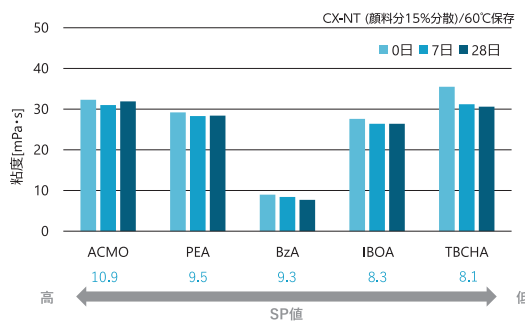
解膠後の状態



短時間の解膠で粗粒が非常に少なく、相溶性・易分散性に優れます。



分散液粘度・安定性

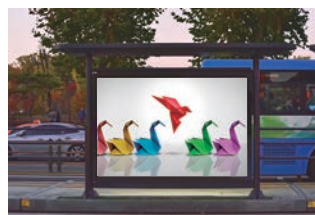


本品は独自の処理により、幅広いモノマー・溶剤への易分散が可能であり、通常必要となる「溶媒に合わせた分散剤選定」が不要です。
また、高い相溶性と安定性により、インク設計での自由度向上が期待できます。

適用用途

IJインク・塗料

- サイン&ディスプレイ
- ラベル、パッケージ
- 段ボール
- 建材(壁紙・床材など)
- 3Dプリント



サイン



3Dプリンタ造形

応用展開

用途に合わせた顔料への処理が可能です。

- 無機粒子(酸化チタン、ジルコニア、シリカなど)



エレクトロニクス材料



Dainichiseika

大日精化工業株式会社

技術管理本部 展示会事務局
e-mail:development@daicolor.co.jp